

from the world

世界の国から

# コロンビア共和国

Republic of Colombia



パオラ・ガルシア氏

PROCOLOMBIA 外国投資部長

Ms. Paola GARCIA

Foreign Investment Manager,  
PROCOLOMBIA

首都 ボゴタ  
面積 約114万平方キロメートル  
(日本の約3倍)  
人口 4,779万人(2014年 世銀)  
政体 立憲共和制  
元首 フアン・マヌエル・サントス・カルデロン大統領  
言語 スペイン語  
通貨 ペソ



## 南米屈指の経済的安定性を誇る国

### 拡大する中間層

南米大陸の北端に位置するコロンビアは、南米第2位の4,700万の人口を有し、しかもその半数以上が30歳以下という非常に若い国です。近年では政府が力を入れる貧困削減政策が功を奏し、中間層が人口の約30%にまで増加しました。消費者の購買力が高まったことから、消費も過去5年間に8%の伸びを見せています。こうした好調な内需を背景に、2010年以降、コロンビア経済は、南米各国の中では高水準の実質4%以上の安定した成長を続けています。また、コロンビアは人口50万人以上の都市が8都市点在しており、国全体が良い形で発展していると思います。

今回は初めての来日でしたが、滞在中は東京、大阪、名古屋、京都の企業を訪問しました。滞在中、日本企業26社と面談しましたが、特に自動車、自動車部品、エネルギー、インフラ関係で好感触を得ました。また、東京で開催され100名以上が参加したセミナーでは、コロンビアの最新のビジネス状況や、現地で活動する日本企業の体験談が紹介されたほか、



参加者との交流の時間も設けられ、有意義な時間を過ごすことができました。

### コロンビアの投資機会

現在政府が力を入れて開発を進めているのがインフラ関連分野です。特に道路網、鉄道、空港、湾港等の整備に複数の大規模プロジェクトが予定されています。太陽光や風力などの代替エネルギー関連のプロジェクトには魅力ある税制優遇措置が付与されます。代替エネルギーのような新しいセクターでは、経験豊富な日本企業の協力が是非とも必要だと感じています。

農業分野も有望です。コロンビアは高品質のコーヒー産地として知られていますが(生産量世界第3位)、その他にも切花の輸出量が世界第2位、パームオイルの生産量が世界第4位と農業分野でも高いポテンシャルがあります。また、あまり知られていませんが、コロンビアで生産されるカカオは大変品質が高く、近年アジアで需要が高まっていることもあり、可能性を秘めていると思います。

コロンビアが競争力を有する分野として紹介したいのがフリー・トレード・ゾーン(FTZ)です。所得税や付加価値税の免除などの優遇措置があり、通常のFTZと異なり、輸出向けだけでなく、国内販売のための利用も可能となっているのが特徴です。FTZ以外にも産業ごと



世界遺産の街カルタヘナ(写真提供:旅ブログ)

に各種の投資インセンティブが用意されており、例えば観光業では、2017年末までに新しいホテルを建設した場合、30年間の免税措置があります。

### 日本との関係強化に期待

コロンビアに拠点を持つ日系企業の数は過去5年間で倍増し、現在80社となっています。投資額も前の5年間と比較して約17倍に増えており、ジェトロが毎年行うアンケートによると、現地で活動する日系企業の約80%が今後もコロンビアでの事業を拡張していきたいと答えています。コロンビア人は勤勉で、技術の習得も早く優秀な人材が多いことも高く評価されています。

昨年9月には、日本・コロンビア投資協定が発効し、現在交渉中の日本・コロンビア経済連携協定(EPA)の早期締結が予想されていることもあり、両国間の経済関係はより一層緊密化していくものと期待しています。帰国後は窓口となるPROCOLOMBIAの日本オフィスと連携して現地の情報提供を行い、多くの日本企業にコロンビアに来て頂きたいと思います。

首都ボゴタ(写真提供:旅ブログ)